

マニラ麻使った バッグなど展示

左京のギャラリー

アバカ(マニラ麻)をフイリピンの伝統技法で編んだバッグやアクセサリーの展示会が、左京区一乗寺のギャラリー「MADAMA Kyoto」で開かれている。29日まで。

途上国の貧困層を支援するNPO法人フェア・プラス(東山区)が企画した。京都造形芸術大出身で同法人職員の笈田真美さん(22)がデザインを担当。フイリピン人女性が編み込む作業を担う。軽くて丈夫なアバカの良さを生かしデザインしたという笈田さんは「編むのは家事や育児に励むフイリピンのママたち。お子さんのいる女性にぜひ使って欲しい」と話した。

